

『<sup>わ</sup>環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成19年11月9日	
		作成部署	土木建築部道路総括室	
事業名	都市計画道路 山手幹線（多々羅） 街路整備事業	構想番号	（土・道括）構-19-14	
		地区名	京田辺市多々羅～三山木地内	
概算事業費	約16.5億円	事業期間	平成元年度～平成22年度	
事業概要	（都）山手幹線 延長300m、全幅員25m、車道4車線、両側歩道、バイパス工事 （都）三山木普賢寺線 延長123m、全幅員16.5m、車道2車線、両側歩道、現道拡幅工事			
関連する公共事業	山手幹線(街路事業)(京都府)(S57～H19) 山手幹線(南田辺北特定土地区画整理事業)(都市再生機構)(～H19) 三山木普賢寺線(三山木地区特定区画整理事業)(京田辺市)(H8～H23)※補助事業H22まで 三山木普賢寺線(街路事業)(京都府)(H19～H23)			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	地球温暖化 (CO <sub>2</sub> 排出量等) 地形・地質 物質循環(土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 など	・現道は交通量が多い区間であるが、幅員が狭いため、離合等による低速走行がCO <sub>2</sub> の排出量増加の一因となっているため、改善を図る必要がある。	・バイパス整備により、自動車交通を円滑化し走行速度の向上及び渋滞緩和させることによりCO <sub>2</sub> の排出量削減に寄与する。	△
生活環境	水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 など	・工事に伴い発生する建設副産物について、リサイクル及び再資源化に努める必要がある。 ・住宅形地域に近接しており、騒音等沿線に与える影響を抑制する必要がある。	・建設発生土のリサイクル及びアスファルト、コンクリート殻の再資源化に努める。 ・高機能舗装の使用により、沿線に与える騒音の影響の抑制等に寄与する。	△
地域個性・文化環境	景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 など	・本路線は21世紀を担う文化・学術・研究の新しい拠点「関西文化学術研究都市」のクラスター間を結ぶ中心道路であるため、良好で風格のある沿道景観の形成が必要である。	・学研都市の景観や計画されている閑静な住宅街や周辺の山並みと調和する両側歩道に植樹を施す幅員構成としている。	○
地域の環境像	本事業箇所は、関西文化学術研究都市の一部を形成する南田辺・狛田地区住宅地とJR三山木駅及び近鉄京都線三山木駅を結ぶ道路であり、騒音、振動、交通安全及び街並み景観を含めた都市環境の維持向上を図る必要がある。			
特記事項	なし			